

# 大賞

## いのち

私は小学生の時、とてもひねくれた、とっつきにくい奴<sup>やつ</sup>だった。人と関わるのがいやで信用していた人などいなかった。いじめにあってからだ。

ひどい事をたくさん言われた。机には落書きされていて、上ぐつには画びょうが入っていた。机の中には自殺した人の新聞やコピーが入っていた。”いつでもどうぞ。(早めにお願ひ♥)”と書かれた紙といっしょに。もう、無視、バイキン扱いはあたりまえで、私のふれた物から伝染病が生まれるとも言われた。

何度も死のうと思った。クラス全員の名前を書き、こいつらに殺された、と書いた遺書<sup>いしよ</sup>は、まだ残っている。リスカを繰り返<sup>く</sup>し、完全に残った傷跡<sup>きずあと</sup>を背負う覚悟は、あいつらにあったのだろうか？

一度同級生に言われた事がある。

「お前、何が楽しくて生きてんの？ってか、生きる価値ない奴が何で学校来んの？」と。そして「役立たずのいらん子は死ね」と。

もう学校には三ヶ月ほど登校できなかった。

しかし、中学生になって変わった。私立に進み、私のいじめられていた事を知る人は、いなかった。

一度友達に、私がいじめられていた事を言った。

「昔な、うちいじめられててん。役立たずのいらん子やねん」と。

すると友達は

「ヒロはいらん子ちゃう。その子がいらんでも、うちはいる。」

と、きっぱり言ってくれた。その時は笑いながらありがとうと言って、家に帰って泣いた。本当にうれしくて、ひさしぶりに人を心から信じた気がする。生きてて良かった。

